

農業委員会だより



主な内容

- P2** 新年のご挨拶、別海町賃借料情報
- P3** R7総会日程、町表彰、酪農女性プチサミット
- P4～5** 別海町で頑張る後継者の紹介
- P6～7** 農業委員会活動報告、It's My Life 酪農
- P8** 農業委員徒然草、広報委員長の小部屋、編集後記



農地評価の様子（中春別地区）
→関連記事はP7に掲載



新年のご挨拶

別海町農業委員会

会長 信 夫 重 勝



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、農業委員会活動に對しまして、深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、農業を取り巻く環境は、生乳の生産抑制が解除され、乳価も引き上げられるなど明るい兆しも見えてきておりますが、依然として飼料・肥料などの生産資材の高止まり、生産抑制による後継牛の不足、生乳の需要動向の不透明さによる需給課題、個体販売価格の低迷など農業経営の厳しさは依然として解消できていない状況です。

一方、令和7年4月から、農業経営基盤強化促進法の改正により、これまでの「人・農地プラン」が、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」に移行するとともに、農地の売買・貸借は、農地中間管理機構（北海道農業公社）を経由することが原則となりますので、農地の権利移動に支障や混乱を招かないよう町、JAなど関係機関と十分な連携を図り準備を進めてまいります。

食料の安全供給の確保、農業の多面的機能の発揮、農業の持続的な発展、農業の振興を基本理念とする「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正され、初動の5年間で農業構造転換集中対策期間と位置づけ、必要な予算、体制を確保

していくこととし、法において、生産コストの農産物価格への転嫁等の食料価格形成の構築や生産性や付加価値の向上により農業の持続的な発展を図ることなども明記するなど、今後予定されている基本計画、関連法等により示される具体的な内容により、安心して農業を継続できる体制が確立されることを期待しております。

また、令和7年春頃には、農地の総量確保と適正利用のため農業振興地域の整備に関する法律（農振法）及び農地法において、農用地区域からの除外及び農地転用の厳格化の改正も予定されています。

当委員会としまして、これらの改正を注視しながら、農業委員会の主たる使命であります農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止、新規参入の促進を図り、耕地面積日本一を誇る食料生産基地として、地産地消の根幹である農地を守り、わが町の農業発展、農業現場における課題解決のため、引き続き町やJAなど関係機関と十分な連携を図り、農業者の所得向上に取り組みでまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう、ご健勝、ご多幸を祈念し新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしく願いたします。

謹賀新年

（推進委員は議席番号順）

会長 信 夫 重 勝
会長代理 加藤 真純

【別海推進委員会】

委員長 山田 良雄
副委員長 小島 敏
推進委員 加藤 祐介
阿部 浩
押田 賢二
藤田 浩義
石田 昌樹
齊藤 春雄
豊島 千秋

【中春別推進委員会】

委員長 芳賀 均
副委員長 畠山 友子
推進委員 石森 裕治
猿谷 忠義
伊藤 一吉
加藤 真純

【西春別推進委員会】

委員長 大内 敏光
副委員長 木幡 誠
推進委員 佐々木 實
竹花 智子
市川 義晴
及川 哲夫

【上春別推進委員会】

委員長 羽石 健一
副委員長 石毛 剛
推進委員 岸本 正明
目黒 英夫
岡崎 知暢
信夫 重勝

令和5年1月から12月までに締結（公告）された農地法及び農業経営基盤強化促進法による貸借における貸借料水準（1ha当たり）は、下記のとおりです。

貸借料情報

地域区分	平均額	最高額	最低額	貸付数	備 考
別 海	19,275円	33,000円	5,000円	19件	別海、中西別、上風連、奥行、本別海、走古丹
西春別	28,227円	40,000円	10,000円	27件	西春別、泉川、矢臼別
中春別	22,880円	30,000円	15,000円	6件	中春別、豊原、美原、床丹、尾岱沼、野付
上春別	27,550円	35,000円	10,000円	21件	上春別、本別、大成

※地域区分は、別海町農業委員会推進委員会の各推進委員会担当地区

令和7年度 別海町農業委員会総会開催予定日・申請受付日程

★農地の権利移動、農地転用などの各種申請に対する締切日は原則下記のとおりです。

開催月	申請書類締切日	現地調査日	総会開催日	開催月	申請書類締切日	現地調査日	総会開催日
4月	4月8日(火)	4月16日(水)	4月30日(水)	10月	10月9日(木)	10月16日(木)	10月30日(木)
5月	5月1日(木)	5月9日(金)	5月21日(水)	11月	11月4日(火)	11月10日(月)	11月20日(木)
6月	6月2日(月)	6月6日(金)	6月17日(火)	12月	12月5日(金)	※	12月23日(火)
7月	7月10日(木)	7月17日(木)	7月30日(水)	1月	1月13日(火)	※	1月28日(水)
8月	8月7日(木)	8月18日(月)	8月28日(木)	2月	2月9日(月)	※	2月26日(木)
9月	9月9日(火)	9月17日(水)	9月29日(月)	3月	3月5日(木)	※	3月24日(火)

※現地調査とは、農地の貸借及び売買等、並びに農業用施設及び住宅建設の申請があった場合、農業委員による現地や計画内容等の確認を実施する調査のことです。(現地調査をしていない場合、許可書の交付ができません)

※農地法第3条による許可申請(農地の貸借及び売買等)は、航空写真等による現地調査が可能となったことから、冬期間におきましても受付けます。

※農地の転用及び現況証明に伴う12月～3月の現地調査は、早期に調査が必要な場合に限り実施するもので、積雪がなく調査地全体が確認できることと、調査当日の天候により中止となる場合があることをご承諾いただけることが条件となります。

問合せ電話番号

農業委員会事務局	農地調整担当	0153-74-9852
	総務担当	0153-74-9853

※上記日程は、都合により変更する場合があります。

最新情報は、別海町ホームページよりご確認ください。



別海町表彰受賞

前別海町農業委員会会長の小野榮一さん、前別海町農業委員会委員の加藤和広さんが令和6年度別海町自治功労者表彰を受賞されました。

小野さんは農業委員会委員を21年間、加藤さんは18年間務め、それぞれ顕著な功績を挙げ、地域農業の振興に多大な貢献をされました。

「べっかい酪農女性プチサミット」

令和6年10月9日

別海町民ホールで
開催されました

「女性」と付いていますが、男性も、農業に関係ない方もどなたでも参加出来、交流と各々の仕事・生活のモチベーションを高める場として開催されています。3回目である今回は、仔牛についての基調講演2本とトークセッションが行われました。(参加人数:144名 取材:6社 ブース:企業14社、グッズ販売3社) プチサミット実行委員の小林晴香さんに「女性が働くための環境」についてお話を伺いました。「女性が働き続けるためには、保育園等の託児のほか、家事代行サービスの充実も必要。」会議や研修会に「女性」と付くことについて、「そうでなければ女性が出て行くことが出来ない。」



プチサミット



小林晴香さん

若い農業者の皆さん！自分の老後自分で守れますか？

若い農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

詳しくは、こちら ⇒



丹羽 博文さんの後継者

にわ えいか
丹羽 瑛郁さん (20歳)

別海推進委員会から
紹介

- ① 令和5年2月
- ② 農家を継ごうとしたきっかけは、当時は何となくやってみようという中途半端な気持ちで入ってしまった部分もありましたが、仕事をしていくにつれて酪農に対する気持ちが徐々に変わっていく実感があり、この気持ちを大切に、真剣に頑張っていきたいです。
- ③ 別海町中西別
- ④ 本人、姉、兄、父、母、祖父、祖母
- ⑤ 休日の過ごし方は、主にゲームです。ですがニュージーランドに行ってからやってみたくが増え料理やバイクなども始めてみたいと思っています。
- ⑥ 農業の魅力としては、酪農に関する話ですと生き物を相手とし、経営のやり方が無限に存在し、とてもやりがいがあります。その中で建物の管理や牛をどのようにして育てるかということ、そして機械や工具なども扱うなど様々なことを経験するので大変ではありますが自分を変える機会と捉えて現在も酪農に励んでいます。
- ⑦ 将来私は、経営者になるに向けて今後の抱負として言うことは、とにかく準備です。経営するための能力や考える力、気持ちなどたくさん準備することがあるので少しずつ確実に準備を進めていきたいです。
- ⑧ 趣味特技：和太鼓（中西別草原太鼓）、卓球



取材：加藤広報副委員長

別海町で頑張る後継者の紹介

小原 義男さんの後継者

まつざき やすし
松崎 靖さん (41歳)

中春別推進委員会から
紹介

- ① 令和2年1月
- ② 平成20年に実家が酪農家の3姉妹の長女と結婚し、令和元年まで千葉県船橋市で建築機械工具販売の会社経営をしていましたが、数年前から義父より後継者がいないから数年で離農すると話しをされ、大型機械や酪農に興味があったこともあり会社閉店を決意し令和2年1月より入植し現在に至ります。
- ③ 福島県いわき市
- ④ 本人、妻、長女、妻の両親
- ⑤ 趣味の車やバイクでドライブやツーリング、メンテナンスを楽しむなどをしています。
- ⑥ 年中無休で大変な酪農業ではありますが、朝と晩の1日2回の搾乳時間が終われば比較的自由時間が取りやすいので慣れてしまえば楽しい仕事だと思います。
- ⑦ 現状の規模を維持し時間にゆとりのある酪農経営を目指したいと思います。



取材：猿谷広報委員

佐々木 敏明さんの後継者
 さ さ き りょうた
佐々木 亮太さん (36歳)

西春別推進委員会から
 紹介

- ① 平成19年4月
- ② 小さい頃から牛舎が遊び場のようなものだったので、自然と家を継ぐという考えになっており特別大きなきっかけはありませんでした。高校から酪農の進路を選び、専攻科を卒業して今に至ります。
- ③ 別海町西春別
- ④ 本人、妻、長女、長男、父、母、祖父、祖母
- ⑤ 運転が好きなので時間があるときは近場の観光地にフラッと行ったり、川で釣りをしたりしています。年に1～2回、家族で温泉などに行ったりもしています。
- ⑥ 朝から夜まで仕事があるのは大変ですが、自分たちだけのペースでやっていけるのは他の仕事ではなかなか無い魅力だと思います。また、1つ1つの仕事の意味を考えて行い、それが結果に結びついたときの喜びも大きいです。
- ⑦ 今後も家族経営で回していける安定した生産を心掛けたいです。両親も年齢を重ねてくるので、これからはより少ない人数でもゆとりのある作業体制の整備を進めて行きたいと考えています。また周りに流されず、基本を見失わないように意識していきたいです。

取材：竹花広報委員



- ① 就農年月 ② 就農のきっかけ ③ 出身地 ④ 家族構成
- ⑤ 休日の過ごし方・楽しみ方 ⑥ 農業の魅力 ⑦ 将来の夢や今後の抱負
- ⑧ その他

羽石 健一さんの後継者
 はねいし たくと
羽石 拓人さん (25歳)

上春別推進委員会から
 紹介

- ① 令和4年3月
- ② 小学生時代に漠然とでしたが、父の経営を自分が継いでいこうと感じておりました。中学生になり今後の進学先を考えている時、地元の酪農家の方が多く在籍していた高校と大学を知り、自分も同じ道を進みました。当時、高校と大学で出会った友人達と将来について語り合っている内に徐々に酪農に魅力を感じていき、後継者として就農しようと決意しました。
- ③ 別海町上春別
- ④ 本人、妹2人、弟1人、父、母、祖母
- ⑤ 洋楽が好きで暇さえあれば、Netflixで洋画を何本も鑑賞しています。
- ⑥ 酪農は色々な情勢に左右されますが良くも悪くも自分次第によって結果に出てくるものだと思いますので、そこで起きたことをしっかりと受け止め、出来る限りのことを自分で考え行動していけば結果に繋がります、自分にリターンしてくるものだと感じております。
- ⑦ 将来的には規模拡大を見据え、作業の省力化や効率化を図り、時間にゆとりを持った中で生産性を上げていきたいと考えております。

取材：岸本広報委員



農業委員会活動報告

地区別農業委員研修会

開催日：令和6年11月7日

会場：根室市総合文化会館



受講中の大内委員

将来の農地利用等の「地域計画」策定後の業務やNOSAIの収入保険等についての研修でした。特に来年開始する新制度について、具体的な説明を受けました。来年以降も農地の売買・賃借案件の増加が予想されるので、農業従事者の方々へ正確な説明が出来るよう努めさせていただきます。

記：石田委員

女性農業委員活動強化研修会

開催日：令和6年12月17日

会場：北海道第二水産ビル

林美智子氏の講師による「女性が活躍する農村の地域づくり」を受講し、その後全道の参加者126名が19の班に分かれて意見交換を行いました。農業委員は何をしているか広報をする、農業者年金を周知する、子育て世代にはSNSで情報発信や自宅に居てもZOOM等で会議に参加出来るようになればいい等の意見が出ました。全体的に活気がありました。



受講中の畠山委員

記：竹花広報委員

市町村農業委員会活動強化研修会 全道農業者年金研究会

開催日：令和6年12月18日
令和6年12月19日

会場：北海道第二水産ビル



受講中の農業委員

出発日、別海は氷点下20度、千歳も降雪しており本格的な冬を感じる日でした。研修1日目は農業委員会を巡る情勢報告として道内3地区の事例報告、2日目は北海道経済、農業者年金の情勢報告等の講演でした。

両日共に大変興味深く感心する内容で実のある研修でした。

記：猿谷広報委員

北海道選出国会議員への要請活動

(令和6年11月27日～28日)

11月27日から28日にかけて、令和6年度全国農業委員会会長代表者集会等に併せて、根室地方農業委員会連合会による「地域の実態に即した施策の実現に向けた要請」を北海道選出国会議員へ行いました。

要 請 先：伊東良孝衆議院議員、鈴木貴子衆議院議員、鈴木宗男参議院議員、篠田奈保子衆議院議員

要請内容：1 農家負担の軽減を図る生産資材高騰対策の継続について

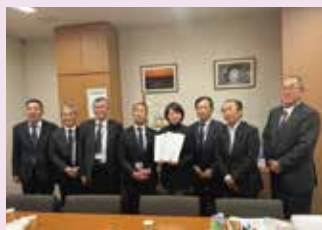
2 北海道の実態に即した担い手への農地集積支援対策等の構築について

3 農家経営の安定対策について

4 農地売買等事業「即売りタイプ」に係る手数料の予算確保について



伊東衆議院議員要請



鈴木衆議院議員要請



鈴木参議院議員要請



篠田衆議院議員要請

農地評価

農業委員会では、申し込みがあった農地について、春と秋に評価を行っています。

各地区毎に、地区の委員全員で現地を訪れ、調査の後に会議を開き農地価格を評価しています。規模や件数により、総計で5時間程かかることもあります。



農地評価 別海地区



農地評価 西春別地区

It's My Life

酪農

別海推進委員会

委員長 山田 良雄さん

高校卒業後4年程東京でサラリーマン生活をしてから実家に戻り、酪農を始めて今年で48年になります。

来年3月末で離農することに決めました。この48年間、本当に色々なことがあり波乱万丈な酪農人生でした。妻にも色々苦勞を掛けました。中でも42歳の時に機械の事故で、あと数分発見が遅れたら命が無かったか植物人間状態になっていたかもしれない。その事故で風土病の末期状況も発見され、肝臓の7割を切除し、患部も全て取り除いていただき、事なきを得ました。あと数か月発見が遅れていたら絶命していました。この事故で出会った開業獣医のK先生、Y先生、S先生のおかげで今日まで経営出来ています。感謝に堪えません。沢山の皆さんに助けていただき、命も助かり、経営も何とかギリギリのところで、潰れることなく今日まであります。本当に「皆さんのおかげ！」です。

この事故から自分の考え方も変わりました。今まで苦勞させた妻に喜んでもらえる様な楽しいことをしていこう…。コンサート、映画、温泉、芝居、その他イベント、旅行等々二人で出掛けることにしよう。

コロナでイベントが無くなった時からガーデン巡りと温泉をセットにして、札幌、旭川、富良野、帯広、北見、網走、その他各地を旅行しています。昨年9月には旭川の上野ファームに行きました。訪問した日は、ガーデンデザイナーであり上野ファームオーナーの上野砂由紀さんが在宅で、ご本人とそのお母さんに話を聞くことが出来ました。酪農、稲作、和牛経営から20年程前に経営転換、大変な苦勞をされて現在に至っているとのこと。感銘を受けました。機会があれば是非もう一度行きたいと思います。

3年後に離農すると決めた頃からクロスブリーディングを始め、現在、モンベリアード4頭が2産目で、その子供達のエアシャー8頭、その内4頭が今年7月頃から分娩します。今から楽しみです。また、受精卵による和牛の生産も時々しています。受胎率が悪い時、販売価額も下がったりと思い通りにはなりません、高く売れた時には、やって良かったと思います。こういう経営ですが、継承してくれる人が居たら…と思う今日この頃です。今まで多くの方に助けていただいたことに心から感謝しています。あと少し酪農を楽しみたいと思います。お世話になった皆さん、ありがとうございました！



山田夫妻

◆◆◆ 農業委員徒然草 ◆◆◆

西春別地区 大内委員長

近年、地球温暖化と言われるようになり、極端な豪雨や暴風雪が増えています。

丁度良い雨が降り、穏やかな年でありますように。(最近、連動スタンションのロックを耳をパタパタさせて解除し、逃走する牛がいて困ってます。)

中春別地区 芳賀委員長

世の中の変化、速過ぎない？昔は楽しめたのに。なぜそんなに急ぐの。現状不自由してる？それって本当に必要？無いと困るもの？また替えるの？少し落ち着こうよ。

まだ使えるし、これでもいいじゃん。そう言って時代に取り残されるのでしょうかね。

上春別地区 羽石委員長

我が家のペットを紹介したいと思います。名前は「かぐら」メスの柴犬です。毛色はキツネ色で性格は外面が良く誰にでもしっぽを振って愛想を振って番犬にはなりません。

今年1年皆さんいい年でありますように。

広報委員長の 小部屋

山は一気に白くなりました。(11/8)
「道の駅おだいとう」のディスプレイロールを冬が来る前に回収しました。(11/29)

ゴールデンウィーク頃にまた設置予定です。



新年あけましておめでとうございます。乳価は上がりましたが、個体価格が低く、まだまだ大変です。そして廃業される方もとても多いと感じています。何とか若い経営者が希望を持って営農出来る時代になって欲しいものです。農業委員として少しでもその助けになるように本年も頑張りたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



ロール回収

広報委員長 加藤 真純

編集後記

寒くなりました。首元が寒いので、妻に言ったらフカフカのネックウォーマーをくれました。

着込んで牛舎へ行くと仔牛たちとお揃いでした。

記：岸本広報委員

